

この度、開院1周年を機に年4回ニュースレターを発行することになりました。皆様のお役にたてる医療情報や当クリニックのことなどをお伝えして参ります。

三島市出身の院長と職員一同で地域に根差した医療をご提供できるよう頑張ります。

第1巻 第1号
発行日 平成27年9月1日

がくとう整形外科
クリニック 

がくとう整形外科 ニュースレター

目次:

開院1年を迎えて	1
職員紹介	1
シンポジウム参加報告	1
心配な腰痛について	2
患者さんの声	2

開院1年を迎えました

こんにちは。
大宮町から南町に引っ越し1年が経ちました。
この1年間で多くの患者さんにお会いし、
いろいろな病気、ケガや痛みを診させていただきました。

- ・加齢による疾患
- ・働き盛りの方に多い疾患
- ・学校スポーツによるケガや痛み
- ・女性に多い手や指の痛み
- ・他の医療機関で治らなかった痛み など



院長 藤田 正(ふじた ただし)

これからも皆様に寄り添いながら健康維持のお役に立てるよう精一杯がんばります。
どうぞよろしくお願いいたします。

職員紹介



理学療法士 齋藤永剛(さいとうえいご)

当クリニックで働き始め、あっという間に半年が過ぎました。
子供の頃より30年以上三島に住んでおり、慣れ親しんだ地域で働くことができ嬉しく思います。皆様とは、街中やスーパー等で偶然お会いするかもしれません。そのときはお気軽に声を掛けて下されば幸いです。仕事では、痛みを緩和するリハビリを提供することを目標としています。今後もリハビリを通じ、皆様の健康のお手伝いをしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

職員がマッケンジー法シンポジウムに参加しました

当院が導入している整形外科の治療法の一つにマッケンジー法があります。
マッケンジー法は、腰や首の痛み、手足の関節や腱の痛みをエクササイズによって患者さんが「自分自身で治す」ことに重きをおいた方法です。欧米で非常に高い評価を得ています。今般、海外より国際マッケンジー協会の講師2名が来日する貴重なシンポジウムが東京で2日間開催されましたので参加致しました。大変勉強になりましたので更に皆様のお役に立てるよう頑張ります。マッケンジー法に関する情報は、

国際マッケンジー協会日本支部ホームページ www.mdt-japan.jp

(理学療法士 小川喜英)

心配な腰痛について

腰痛は、たくさんの方が悩む症状です。

国の調査でも、男性の第2位、女性の第1位となっており、普段から経験することが多い腰痛です。

しかしながら、なかには怖い腰痛もあります。今回はその一部をご紹介します。

★心配な腰痛

悪性腫瘍、脊椎感染症：腰の骨に腫瘍ができたり、ばい菌が入ったりして痛みます。

圧迫骨折：腰の骨がつぶれて痛い。特にきっかけがなくても起こることがあります。

椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症：足にも痛みや感覚の異常、脱力があらわれます。

★一刻を争う腰痛

大動脈解離：太い血管が裂け急激に強く痛みます。

馬尾障害：腰が痛くなってから尿が出なくなったり、肛門周囲の感覚が鈍くなります。

ご心配であればご相談下さい。

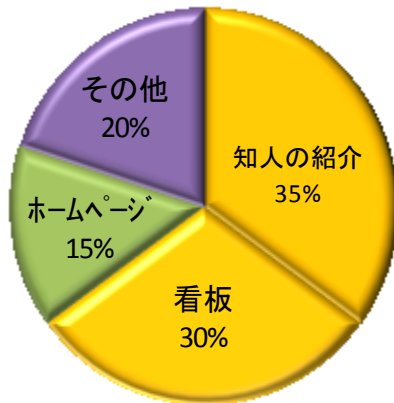
楽にしても痛みが1ヵ月以上軽くならず、続いている痛みがある場合にも、早めに受診されることをおすすめします。



患者さんの声（患者さんへのアンケート結果）

より良い医療をご提供できるよう、当クリニックの患者さんにアンケートへのご協力をいただきました。

質問① 当院をお知りになったきっかけは？ 質問② 当クリニックで治療を受けられたご感想は？



- ・とても満足しています。先生もリハビリの方も親切です。(50代女性)
- ・分かりやすい説明をしてくれるので、今後どうすればよいか分かった。(30代女性)
- ・とても良くなってきています。(70代男性)

みなさまのご要望にお応えできるよう努めてまいります。お気軽にご相談ください。

がくとう整形外科クリニック

整形外科・リウマチ科・ペインクリニック・内科・リハビリテーション

〒411-0842 三島市南町8-8 ☎: 055(975)0785

診察日・診療時間	月	火	水	木	金	土
08:30~12:00	○	○	○	○	○	○
15:00~18:30	○	○	○	/	○	/

ホームページもご覧ください
gakutou.byoinnavi.jp/sp/